

リレー・フォー・ライフ・ ジャパン 2014 in Gifu に参加

リレー・フォー・ライフは、がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者らが夜通し交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティーイベントです。

平成 26 年 10 月 11、12 日 岐阜大学医学部附属病院ホスピタルパークにて 4 回目となるリレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 in Gifu が開催されました。ホスピタルパーク内をコースにサバイバーウォークはスタンプラリーを取り入れ 50 周以上歩いた方もありました。サバイバーの女性が参加されたフラダンスチーム、津軽三味線演奏、高校生の合唱、カイロプラティックなど 20 のチームの皆さんが参加しました。今年は特定非営利活動法人がんサポートセンター主催の県民公開講座『大丈夫ここまで進んだ乳がん治療』の講演を終えられた山田邦子さんがウォークとルミナリエに参加していただきました。わずかな時間でしたがあふれる魅力が満載でした。

使命と 3 つのテーマ

リレー・フォー・ライフは、“Save Lives”を使命とします。がんと闘っている人たちの命を祝福し (Celebrate)、亡くなった人たちのしるし (Remember)、がんと闘っている人たちを勇気づけます。そして、がん征圧のために力を合わせて立ち向かいます (Fight Back)。

サバイバーとケアギバー

リレー・フォー・ライフでは、がんと告知を受けた方々を「サバイバー」、がん患者さんを支える家族や友人など、サバイバーとともに人生を歩む人を「ケアギバー」と呼んでいます。サバイバーやケアギバーをたたえることが、リレー・フォー・ライフの国際ルールの一つです。

リレーウォーク

昼と夜の風景



合唱に参加してくれた高校生の手書きの parasol が
かわいかったです。



使命である“Save Lives”の実現のために、3つの基本方針があります。

- ①楽しむ・・・患者・家族をはじめ参加者全員が楽しみ勇気づけられること
- ②啓発・・・生活改善を呼びかけ、がんに対する正しい知識を普及し、社会全体でがん征圧活動に取り組むこと
- ③募金・・・がん征圧のための資金を集めること

そこで、今年は看護自治会を中心に「楽しむ」「啓発」「募金」の基本方針に沿って
看護師との「ふれあいコーナー ミニバザーと風船つり」を企画し、参加しました。

私たちも楽しく参加できました。来年は他のチームの皆さんとも交流ができるといいですね。



ルミナリエ

メッセージを託したキャンドルに光を灯し、がんで亡くなった人たちを偲び、また、がんと闘っている人たちを応援します。追悼とともに、がんに立ち向かう勇気を見出します。



サバイバー、ケアギバーの皆さんが思いを書き込みます。夜はとてもきれいです。

暖かな灯と心が届きますように。

